



## ALSO プロバイダーコース

### ～秋田大学医学部産婦人科～

**Advanced Life Support in Obstetrics(ALSO)**とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を身につけ、伸ばすための教育コースです。また産婦人科医のみならずプライマリケア医が分娩を扱えるようになることを意図した訓練でもあります。1991年にACLSとATLSを参考にして、ウィスコンシン州の一般診療医師二人がALSOを考案しました。1993年にコース権利はAmerican Academy of Family Physicians (AAFP—米国家家庭医学会)によって認可され、現在、全米ではほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOを受講することが義務づけられています。また米国の家庭医レジデンシープログラムのうち、78%がALSOをプログラムに導入しています。さらにALSOコースは世界的にも普及活動が行われており、2009年現在までに50ヵ国以上でプロバイダーコースが開催され、10万人以上がALSOコースを完了しました。

コースの教材は、シラバス(教科書)、レクチャー、実地訓練のためのマネキンを使用したワークショップです。筆記試験とマネキンによる実技試験(メガデリバリー)がコースの終わりにあります。ALSOは分娩室における産科の救急的対処を強調していますが、その他に出産前のリスク評価、妊娠初期の性器出血、患者—医師関係、出産危機における両親のサポート、そして医療過誤リスクの減少といったテーマも含まれています。

プロバイダーコースは二日間にわたって行われます。妊娠初期の合併症、難産、妊娠の内科的合併症、妊娠後期の性器出血、分娩後大出血、早産、前期破水、妊婦の蘇生法、そしてマタニティケアにおける安全性の8つのレクチャーがあります。少人数グループによるワークショップは、肩甲難産、胎位・胎向異常、鉗子と吸引、分娩中の胎児監視、症例検討の5つです。オプション・ワークショップとして会陰縫合、帝王切開、超音波検査、出産危機における両親への対処、そして新生児蘇生の5つから適宜行われます。プロバイダーコースを受講し試験に合格した場合は、参加者は5年間有効の認証を受けることができます。プロバイダーコースのインストラクターになることを希望する場合、さらに一日間のインストラクターコースを受講しなければなりません。

日本では2008年11月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されて以来、約百数十名がALSOコースを修了しました。これまでの受講者は産婦人科医、プライマリケア医、研修医、救急医、助産師、そして医学部生などであり、現在あるいは近い将来の日本の周産期医療体制において、分娩や産科救急に関わる可能性のあるすべての医療人が参加しています。

産科救急医療は、産婦人科医だけではすでに成り立たない状況になりつつあることは周知の事実です。日本全国のすべての地域でできるかぎり同じレベルの産科医療を維持するには、産科医療に関わりたいという志を持った人たちをトレーニングする場を多く提供し、最低限必要な医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要があります。まさにその足がかりとなるトレーニングコースがALSOであり、今後日本で普及していくことを願ってやみません。

*ALSO-Japan*

セミナー：ALSO プロバイダーコース秋田大学産婦人科

主催：秋田大学医学部産婦人科医局

共催：NPO 法人周産期医療支援機構（OPPIC）

開催場所：秋田大学医学部医学系研究棟 1階・2階 総1講、総2講

日時：平成23年9月10日（土）、9月11日（日）

費用：15,750円（医学生の場合にはご相談下さい）

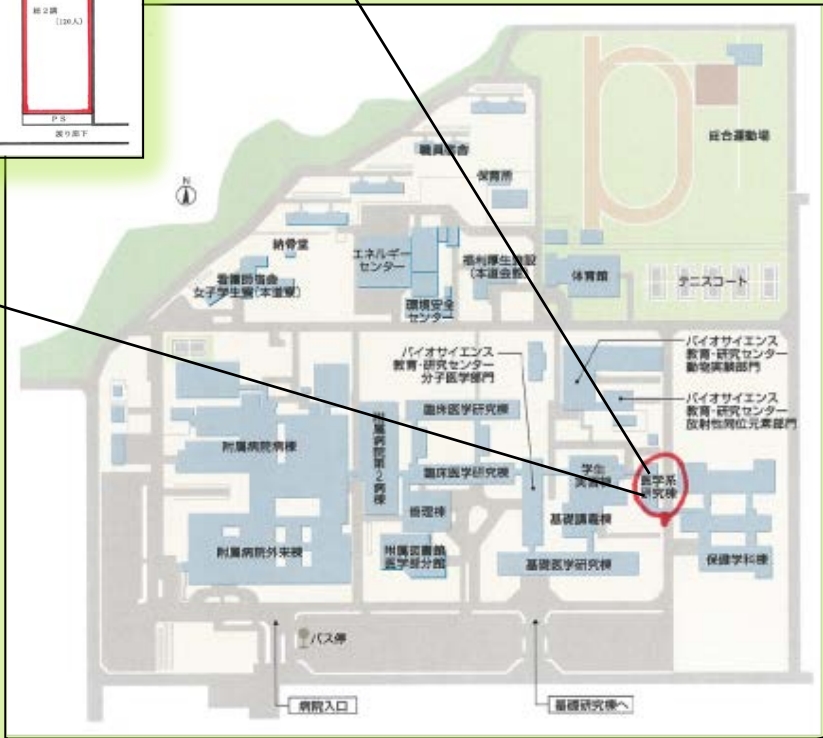
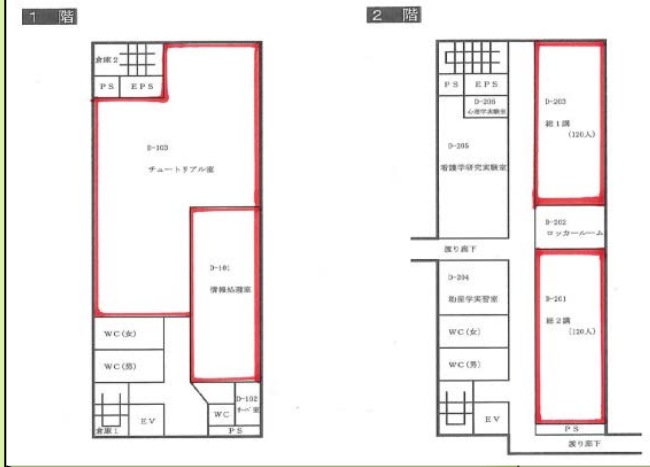
担当：周産母子センター小川正樹（070-5046-1033）

申し込み方法：メールで小川正樹 [ogawapen@gipc.akita-u.ac.jp](mailto:ogawapen@gipc.akita-u.ac.jp) まで

定員になり次第募集は終了致します。

# 秋田大学産婦人科ALSOプロバイダコース会場案内図

医学系研究棟校舎平面図



## 宿泊のご案内

宿泊は秋田駅東口の東横インをお勧めいたします。

以下のホームページよりご予約ください。

なお9月10日は午前8時30分頃の開始を、9月11日は夕方16時頃までの終了を予定しておりますので、遠方の方は前日より宿泊されることをお勧めいたします。



**ALSO-JAPAN 2011 at AKITA UNIVERSITY COURSE SCHEDULE**

9月10日(土)

8:20 AM -受付

8:50 AM Opening

9:00 AM - 9:30 AM

F: Labor Dystocia 難産

9:35 AM - 10:55 AM

H: Assisted Vaginal Delivery 吸引/鉗子(全員講義終了後WS)

11:05 AM - 12:30AM

E: Intrapartum Fetal Surveillance 分娩時胎児監視と症例(全員講義終了後症例)

12:30PM - 1:30PM

Lunch

L: Safety in Maternity Care 妊婦ケアにおける安全性

1:30 PM - 2:30 PM

I: Shoulder Dystocia 肩甲難産(全員講義終了後WS)

2:40 PM -4:00 PM

J: Post Partum Hemorrhage 産後大出血(全員講義終了後WS)

4:10-4:40PM

A: First Trimester Complications 妊娠初期の合併症

4:50-5:20PM

G: Malpresentations 胎位・胎向異常(全員講義終了後WS)

5:30 PM - 6:10 PM

D: Preterm Labor and PROM 早産と前期破水

9月11日(日)

8:30 AM - 9:50 AM

K: Maternal Resuscitation 妊婦の蘇生(全員講義終了後WS)

10:00 AM - 11:00AM

B: Medical Complications & OB Cases 内科的合併症と症例(全員講義終了後症例)

11:10 AM - 11:40 AM

C: Vaginal Bleeding in Late Pregnancy 妊娠後期の性器出血

11:50 AM - 12:50 PM

Lunch

13:00 PM - 14:00 PM

N: perineal repair 会陰縫合(全員講義終了後2GIに分けて実習) 産婦人科Dr:4度裂傷、助産師・研修医:会陰縫合

14:00PM - 14:30 PM

Rest 休憩、試験準備

14:30PM - 16:30PM

Megadelivery & Written Examination

実技試験、筆記試験